

一泊研修会

2003年6月28日(土)～29日(日)

詩吟同好会、研友会共催

今回は詩吟同好会が企画し研友会が一泊研修事業として参加、共同開催で行われた。

亀岡湯の花温泉と保津峡でトロッコ列車と保津川溪流船下り、そして嵐山を散策し自然を満喫する、工場見学はなく、観光が主で行われた。



雨に煙る嵐山、土曜日で多くの観光客にすれ違いながら渡月橋を渡り嵯峨野トロッコ駅まで歩き、トロッコ列車に乗り込む、参加者は30名、予約席を確保していたので安心、雨とはいえ、ほぼ満員状態

保津峡を右に眺めながら亀岡へ、車内は少し狭い、自由席は正にトロッコ、囲いがあるだけの状態、レールと車輪の磨れる凄い騒音、話声などは聞き取れない、頭の中と身体の中まで騒音が残って離れない感じだ、まったくすごい！！

亀岡駅まで一時間ほどで到着、宿舎の送迎バスで亀岡荘へ9号線はラッシュでノロノロ20分で着くところが1時間もかかった

温泉につかりトロッコ列車の疲れを取り、豪華な料理と懇親交流の大宴会を楽しむ、詩吟同好会の皆さんが詩吟劇「桃太郎」(芳野先生、演出、作)が披露される。有志の吟詠、カラオケ、六甲おろし等、名酒を持込んで隠れて回し飲み、楽しい懇親会で交流を深める。



朝温泉につかり二日酔いの疲れを取る方、ランニング、散歩等楽しんで9時過ぎに出発昨日の雨も上がり 天気はすっかり晴れ穏やかな日和、棧橋近くは穏やかな流れに揺られて船頭さん4名、と我々24名、6名は別船で二舟に別れ出発

溪流下りは嵐山まで約一時間、岩肌を擦るかと思うほどのスリル、濁流に突っ込む感じを味わいながら、水しぶきに靴の中まで濡れ、下に置いていた靴はびしょ濡れ、悲鳴が飛び交う。

岩の名称の説明、景色を眺めていると対岸から記念写真を撮っている一枚1千円とか。

流れの緩やかな広い淀みに来たと思うと、そばに物売り船が

近づいてきた、飲み物、つまみ、果物など色々積んでいる。感動を思いながら喉を潤して下船。

休憩して解散の予定が昼食に酒つきとなった、茶店一軒貸切30名の料理に大慌て、女性の方がお手伝い。料理も出揃い、心地いい風に吹かれて大いに盛り上がりました。

今回は山本幹事のご努力で安く上がり、赤字を出さなくて済んだ。昼食後解散、嵐山を散策、帰りの駅に向かう方々、三々五々別れた。ご苦労様でした・・・ (中川会長)

